

滑川町附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和3年度第2回滑川町立滑川中学校学校運営協議会
日時	令和3年10月21日（木曜日） 10時00分～11時55分
場所	滑川町立滑川中学校 図書室
出席委員 等	千葉雅哉会長、原徹副会長、吉田利好委員 高澤守委員、大塚一男委員、道祖土悟委員、瀬上俊委員 鈴木由紀子委員、河崎由加里委員、八木原利幸委員（滑川中学校長） 教育委員会…岩田指導主事、馬場教育長（途中から出席）
欠席委員	（オブザーバー…藤高直之 氏）
事務局	荻野仁之…教頭、高橋賢徳…主幹教諭、新井 優…主幹教諭 大木 勝…社会教育士、伊藤正芳…事務主幹
議題	(1) 今年度の教育活動の進捗状況について (2) 今後の教育活動について (3) 全国学力・学習状況調査、 埼玉県学力・学習状況調査の結果について (4) 女子用スラックスの導入および体育着の改定について (5) 2年生キャリア教育と地域課題解決学習について (6) コロナ禍で行う、地域学校協働活動について (7) 学校自己評価について (8) その他（生徒会本部役員紹介）
配付資料	○令和3年度第2回滑川町立滑川中学校学校運営協議会資料（冊子） ○学校だより（6月～10月） ○全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果（別紙） ・会議終了後回収 ○学校自己評価シート（別紙）
公開・非公開	公開

傍聴人数	0人
会議要旨	<p>あいさつ…岩田指導主事</p> <p><会長>これより議事を進行する。</p> <p>協議</p> <p>(1) 今年度の教育活動の進捗状況について (2) 今後の教育活動について 関連性があるため一括協議とした。 事務局・教頭より6月から10月の学校だよりの行事予定表に沿って、第1回会議終了後に行われた主な行事について説明があった。 続いて、八木原委員より資料P5に基づいて説明があった。 他の委員から特に質問等はなかった。</p> <p>(3) 全国学力・学習状況調査、 埼玉県学力・学習状況調査の結果について 別紙資料に基づいて事務局・高橋主幹教諭より説明があった。どちらの調査結果も全国および県の平均値と比較して大きく上回っており、各学年・各教科ともかなり上位の成績が残せたと報告があった。 他の委員からは、「最初から成績が高い学年もあるが要因は何か、下位層への取組はどのように行っているか、中間・期末テストとの相関はあるのか、よい成績が残せることに環境的要因や社会的要因はあるのか」等の質問が出た。 事務局より、進学状況や長期休業中及び放課後等の取組、各教員の授業展開の状況等の説明をもって回答とした。</p> <p>(4) 女子用スラックスの導入および体育着の改定について 事務局・教頭より女子用スラックスを導入するのに至った経緯、着用時期、価格、販売店等について説明があった。その後、資料P6に基づいて八木原委員より体育着を改定する必要性・メリット、価格、改定手順、業者選定にかかる進捗状況と見通し等について説明があった。 他の委員からは、保護者や生徒のことを考えると、この時期に実施できてとても良かった、さらに積極的に進めて欲しいという意見が多数出た。 また、選定業者の決定および選考方法について承認された。</p> <p>(5) 2年生キャリア教育と地域課題解決学習について 八木原委員より資料P7に基づいて、この2年間コロナ禍により実施できなかった「社会体験チャレンジ」に代わる代替行事であること、地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの推進に向けての取組であることの説明があった。 他の委員からも地域で積極的に応援していこうという意見が出た。</p>

(6) コロナ禍で行う、地域学校協働活動について

各委員から、学校と地域で協力して取り組めそうなものがあるかなど、自由に意見を出してもらった。事務局からは、いただいた御意見を参考に今後の教育活動に生かしていきたいという回答があった。

(7) 学校自己評価について

事務局・教頭より次回の中心議題になる学校自己評価について別紙資料に基づいて、各項目ごと詳細な説明があった。他の委員からは特に質問等はなかった。

(8) その他（生徒会本部役員紹介）

事務局の進行により、新生徒会本部役員の会長、副会長（2名）の紹介を自己紹介形式で実施した。各本部役員は抱負をしっかりと語った。

<会長>以上で議事を終了する。

その他

事務局より、授業見学の案内を行う。

（委員の一部は、本校の教育活動の特徴の一つでもある「一斉道徳授業」を見学した）

諸連絡

次回議題案（2月下旬～3月上旬を予定）

- ・ 1年間の教育活動の総まとめについて
- ・ 学校自己評価について
- ・ 令和4年度学校経営方針について
- ・ その他



